

新年のごあいさつ



岸和田市長 永野耕平

新年あけましておめでとうございます。皆さまには、清々しい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素より本市のまちづくり、とりわけ国際交流事業にご支援、ご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

貴協会は市民の組織として設立され、訪問団の受け入れや派遣、中国での緑化活動、スポーツ交流等々多彩な活動を続けられ、両国の相互理解と友好を深めてこられました。歴代役員の方々をはじめ会員各位の長きにわたるご尽力に深く敬意と感謝の意を表すところであります。

昨年も、協会でご企画された「みかん狩り」にお招きいただきありがとうございました。大勢の参加された方々の中には、中華人民共和国駐大阪総領事館の総領事もおられました。コロナ禍で準備も大変だったと想像しますが、本市に来ていただいたお客様の楽しまれている姿をみることでましたし、盛況な催しとなったことも喜ばしく思いました。

また、友好都市の汕頭市との「日中友好小学生絵画交流展」も主催していただきました。このような、文化・芸術・スポーツ等々を通じて友好交流を深めることは、大変意義深いものがございます。その輪の広がりが、中国と日本、ひいては世界の平和と繁栄に大きく寄与するものと確信いたしております。

本市では、今後も様々な交流活動を通し、両国間の親交を深めてまいりますので、貴協会の皆様方の今後ともご理解とご協力をお願いする次第であります。

結びに、岸和田市日本中国友好協会の益々のご発展と会員皆様方のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年の挨拶といたします。

今年もよろしくお祈いします。



岸和田市日中友好協会
会長 武井俊成

新年あけましておめでとうございます。年始めより新型コロナウイルスに脅かされ、活動ができなくなるという初めての経験をした令和2年度でした。集まることができないほどつらいことはありません。リモートなどでも活動は可能ですが、そこまでの環境が整っていないこともあり歯がゆい気持ちでの前半でした。後半から活動ができる状態となり、コロナへの予防対策を立てながら活動を再開しました。制限はあるものの活動できることの喜びを実感した年でもありました。

汕頭市の小中学校と絵画交流は汕頭市の人民対外友好協会の協力をいただき3回目の交流となりました。絵画を通してそれぞれの文化歴史等を学ぶことができ、お互いを知ることで理解と交流が深まればと考えるので、より進めていきたいと考える。

「中国音楽コンサートシルクロードへの道」では今回ウイグル出身のジャミラ・ウライムさんのウイグル舞踊もあり大変盛り上がったのですが、コロナの関係で入場者を4割に制限しての開催となったのは残念でした。

ミカン狩りは建物内での食事ができない関係上、最初から最後まで野外での活動となり、参加者も例年の半分に制限しての行事でしたが、ミカン狩りの後、芋ほり、二チームに分かれてのクイズ大会で賑やかな時間を過ごすことができました。

新型コロナウイルスがワクチン接種で収まってくれることを願うばかりですが、いまだ見通しは立ちません。本年度はまず十分なコロナの予防対策を取りながら、少人数での活動を昨年引き続き継続していきたいと思うのでどうかよろしくお祈いします。



新年のご挨拶

NPO 法人大阪府日本中国友好協会
会長 梶本徳彦

新年あけましておめでとうございます。岸和田市日本中国友好協会の皆様におかれましてはご家族とともに良い新年をお迎えになったことと思います。

貴協会は1987年の創立以来長年にわたり特色ある活動を展開され、日中両国民の友好親善に貢献されていることに敬意を表します。また、平素から大阪府日本中国友好協会の活動にご理解ご協力をいただいていることに感謝申し上げます。

昨年1月末からの新型コロナの蔓延によって、我が国はもとより世界中が翻弄された年でした。国内外の人々の往来が激減し経済的に大きな打撃を受け、日常生活においても外出自粛、様々な会合の中止が求められ、三密を避けるなど新しい生活スタイルの下でコロナと共存しなければならなくなりました。

府日中も創立70周年を迎える記念すべき年でありましたが、記念誌は発行できたものの記念行事や記念訪中など予定していたほとんどの事業が中止を余儀なくされました。

そんな状況のもとであっても日中両国民の友情と連帯は途絶えることなく、「山川異域、風月同天」の精神で、両国の間で助け合いと励ましの活動が行われたことは素晴らしいことでした。

コロナ感染の蔓延も年末には第3波が広がり、貴協会におかれても運営にご苦労されていることと拝察いたします。しかし、新型コロナウイルスの蔓延との闘いが長期化することを考えると、友好都市との交流ではオンラインによる対話、地域においては小規模な活動を地道に積み重ねていくことなど、新しい活動形態を創造しなければならないと考えます。貴協会におかれましては会員の皆様の創意工夫によって新しい活動の輪が広がることを期待しています。

新型コロナウイルス蔓延という状況での新年ではありますが、一日も早いコロナの収束を願い、貴会員の発展と会員の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げ新年のご挨拶といたします。

メッセージ

(何総領事帰国のため総領事館よりいただきました)

『你好』2021年新年号の刊行に当たり、中華人民共和国駐大阪総領事館より、謹んでお慶びとお祝いを申し上げます。岸和田市日中友好協会は創設以来、中日地方交流に取り組み、様々な分野で民間友好活動の実績を積み重ねてこられました。

特に、今年の新型コロナウイルス感染症という極めて特殊な状況の下で、岸和田市日中友好協会は総領事館を通じて中国に義援金を送り、20年間欠かさず続けてきたみかん狩りを努力して実現させ、多くの人々に勇気と元気を与えました。手を取り合って困難を乗り越えるという中日双方の友情に感動しながら、武井会長をはじめ友好協会の皆様に改めて感謝と敬意を申し上げます。

先月、第16回中日共同世論調査の結果が公表され、中国に「良い」印象を持っている日本人が10%に下がったそうです。重要な理由として、「民間の様々な交流により中国人の存在が身近になったから」という日本人が昨年の40%から29%に減少したことが挙げられるという。確かに、新型コロナの影響で中日間の人的往来の減少が余儀なくされましたが、中日両国の努力によって好転の兆しも見せつつあります。習近平主席が中国の扉は世界に対し常に開かれていることを力強く示したように、中国の王毅國務委員兼外長の訪日に伴って中日両国のビジネス関係者の往来が再開し、中日友好交流は様々な形で回復しつつあります。

総領事館といたしましても、岸和田市を含め管轄地域の皆様と手を携えて新型コロナ対策を強化し、各分野における友好交流と実務協力に取り組んでいく所存です。今後ともお力添えくださいますようお願い申し上げます。

結びに、岸和田市日本中国友好協会の益々のご発展と、武井会長をはじめとする会員の皆様のご清祥とご多幸をお祈り申し上げます。

二〇二〇年十二月吉日

中華人民共和国駐大阪総領事館

日本・中国小学生絵画交流展示会開催

本年度岸和田市は城北小学校、汕頭市は東厦小学校、両校の絵画70点を11月14日（土）城北小学校と、11月28日29日の2日間岸和田市立自泉会館にて開催しました。14日は学校の保護者対象、28,29日は市民を対象としての開催でした。

今年で交流展示は3回目となりました。私たちも絵画を通して、汕頭市を含めた潮汕地方の文化を知るきっかけとなっています。昨年は汕頭市の旧市街地が再開発され小公園として再開発され市民の憩いの場所となっている様子多く描かれておりました。本年は潮汕工夫茶、潮汕紅頭船、紅桃粿等の潮汕文化を表現した絵画。日本との友好交流の題目では富士山、着物、また東京タワー、アニメの主人公等が描かれて日本のイメージとして捉えられておりました。汕頭市の児童が日本をどのように見ているか知ることができました。

ご覧いただきお互いの様子を知ること、交流が深まるきっかけになればと思います。（文 武井）



1月文化サロンのお知らせ

「藏茶（ザンチャ）漢民族とチベットを結ぶ千年のお茶」

中国茶の体験でいつもお世話になっております王 静、津田 美起子両先生に日本ではあまり知られていなくてチベット族に飲まれています藏茶の歴史や現状についてお話していただきます。コロナの関係で飲むのは試飲程度となりますが、貴重な機会だと思しますので、ぜひ多くの参加お待ちしております。

日時：1月30日（土）午後2時～3時30分

場所：岸和田市野田町 1-15-30 カフェ いろは

会費：500円

定員：20名

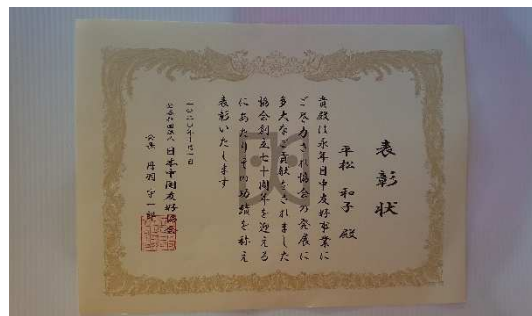
申込：事務局（090-8886-2161 武井）

平松和子氏が表彰されました

今年日本中国友好協会が創立 70 周年を迎えましたが、その記念として永年会員として友好活動に尽力された会員を、推薦により表彰されることとなりました。

当協会も平松和子氏を大阪府日中友好協会を通じて推薦させていただきましたが、このほど表彰状と記念品が届きましたので届けさせていただきます。

これからも活躍していただけることを念じております。



- 11月28日29日 自泉会館 日本&中国小学生絵画交流展
- 12月17日(木) 福祉センター 12月度理事会
- 1月14日(木) 〃 1月度理事会
- 1月30日(土) カフェいろは 文化サロン「藏茶 漢民族とチベット族を結ぶ千年のお茶」